



大学の 世界展開力 強化事業

ASEAN地域における
大学間交流の推進
(タイプB)

CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造
Creation of Innovative Educational System for Sustainable Society and Urban Growth

明治大学「大学の世界展開力強化事業」パンフレット(禁無断転載)

発行:2017年3月 発行元:明治大学 国際連携部 国際連携事務室
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1



大学の 世界展開力 強化事業

ASEAN地域における
大学間交流の推進
(タイプB)

Contents

- 1 共創FDワークショップ、CLMV学生会議、PBL型体験学習
- 2 政治経済学部取組
- 4 理工学部・理工学研究科取組
- 6 情報コミュニケーション学部取組
- 8 連携大学等一覧 / 明治大学アセアンセンター
- 9 問合せ先 / アクセスマップ

文部科学省・平成28年度(2016年度)「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」のタイプB(ASEAN地域における大学間交流の推進)に申請していた明治大学の構想「CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造」が採択されました。

本事業では、CLMV諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)やASEANの15大学と連携し、政治経済学部、理工学部建築学科、理工学研究科建築・都市学専攻建築学系及び国際建築都市デザイン系*、情報コミュニケーション学部が専攻分野やキャンパスを超えた新たな取り組みを展開します。

事業の目的

近年、CLMV諸国の経済成長は目覚ましく、これに伴って都市化も急速に進行しています。しかし、急速な都市化は、都市の過密と地方の過疎(高齢化)、環境破壊、公害問題、地域的な経済的格差等を生み出す危険性を孕んでおり、これは正に長い時間と大きなコストが伴うことは、CLMV近隣諸国の実態を見ても明らかとなっています。

本構想では、このようなCLMV諸国の実態や実状に鑑み、日本の過去の教訓を踏まえた「先進的なアジア型の将来都市構想」と、これを実現する「共創的教育システム」を創造することを目的としています。

養成する人材像

日本の学生と発展途上にあるCLMV諸国の学生とが協働することで、(1)異なる視点から自国の問題を理解すると同時に、自国の問題の特殊性を自覚し、(2)経済や技術の発展段階を超えて共通の問題にアプローチできる専門知識や能力を養い、(3)言語や文化の違いを超えて現実的な合意や価値の形成(共創)を実現できる人材を養成します。

具体的には、国連が提示した「持続可能な開発目標」に沿って、日本の高度経済成長の経験を教訓とし、各国・地域の都市化に適合したインフラ形成とこれを運営する社会インフラの意義を理解し、その発展に寄与できる人材です。

共創FDワークショップ、CLMV学生会議、PBL型体験学習

CLMV 学生会議の開催

明治大学の学生と連携大学の学生が、タイ・バンコクに所在する明治大学アセアンセンターにおいて開催する「CLMV学生会議」を通じて、活発な議論を行い、CLMV諸国やASEANの歴史的・文化的背景を踏まえた具体的な政策提言にまとめます。

本事業取組部局(政治経済学部、理工学部建築学科、理工学研究科建築・都市学専攻建築学系及び国際建築都市デザイン系*、情報コミュニケーション学部)の専攻分野を活かし、①建築学から見た技術的な側面、②政治経済学から見た政策実施の側面、③コミュニケーション学から見た合意形成の側面から、CLMV諸国やASEANのインフラ整備(都市環境整備)について分析し、毎年、「都市整備パネル」、「政策実施パネル」、「住民合意形成パネル」に分かれて議論を行い、それぞれのパネルでの検討内容を総合的な政策提言につなげていきます。

共創FDワークショップの展開

CLMV学生会議に合わせて、明治大学と連携大学の教員による「共創FDワークショップ」を明治大学アセアンセンターにて開催します。

共創FDワークショップでは、「アジア型の将来都市構想を担う共創的教育システム」について議論を行い、アジア型の将来都市構想に向けた教育力の向上や意識共有を目指します。

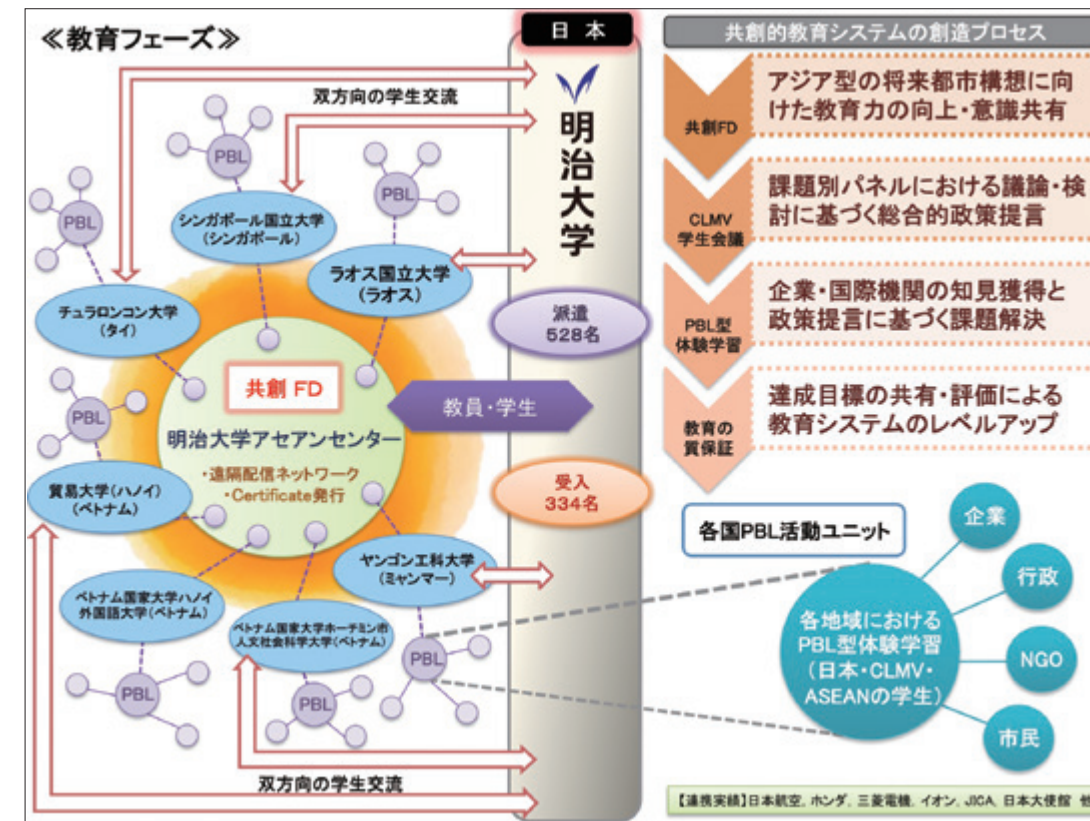
PBL型体験学習の実施

明治大学と連携大学との学生交流プログラムに加えて、社会開発のステークホルダーである企業や各種民間団体との連携についても計画しています。明治大学と連携大学の学生からなる「課題別グループ」を構成し、企業、NGO、国際機関等の知見を得ながら問題解決を図るPBL型の体験学習プログラムを開発します。

PBL型の体験学習プログラムでは、インターンシップやフィールドワークを通じて、各課題別グループが開発戦略案、市場戦略案、都市計画案を策定し、各国における行政機関や国際機関へ提言を行います。

*建築学専攻は2017年度から新たに建築・都市学専攻となります。

事業の概念図



政治経済学部では、2015年度までにASEANの中核を担うタイの6大学10学部と学部間交流協定を締結し、双方向の短期・中期・長期の学生交流プログラムを展開してきました。

政治経済学部は本事業の取り組みとして、タイの6大学10学部のうち、チュラロンコン大学の2学部、タマサート大学、シーナカリン大学の3学部、モンクット王ラカバン工科大学、ベトナムのベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学、ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学との連携に加えて、CLMV諸国の大学との交流プログラムを開発し、ASEANやCLMV諸国の大学とのさらなる連携を展開します。



タイ短期派遣プログラム 現地学生との交流

2016年度交流プログラム

派遣プログラム

ベトナム国家大学人文社会科学大学 短期留学派遣プログラム

プログラム日程:2017年2月14日(火)~3月12日(日)

東南アジア、特にベトナムに強い「グローバル人材」育成を目指して、2015年度に開始したプログラムです。まずはベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学にて、ベトナム及び近隣諸国の政治・経済・社会等に関する特別講義を英語で受講します。また、現地に進出している日系企業を訪問します。

また、政治の中心である首都ハノイにも訪問し、ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学で特別講義を受講するとともに、日本大使館に訪問予定です。近年日本との交易もさらに盛んになり、1,200社を超える日系企業が進出している社会主義国家ベトナムの「今」を理解するプログラムです。



現地学生との交流



企業訪問

2017年度実施予定交流プログラム

派遣プログラム

学部間協定による長期(2学期)・中期(1学期)派遣プログラム

政治経済学部「留学促進プログラム」の一環として、学生を海外協定校等での長期・中期留学を通じて、異文化に対する理解と洞察力、実践的な専門知識、語学力・能動的コミュニケーション能力を育てることを目的として、実施している派遣プログラムです。

2017年度は、チュラロンコン大学の2学部、タマサート大学、シーナカリン大学の3学部、モンクット王ラカバン工科大学、ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学、ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学に派遣する学生が対象となります。

タイ短期留学派遣プログラム

プログラム日程:2017年8月1日(火)~8月29日(火)

東南アジア、特にタイに強い「グローバル人材」育成を目指して、2012年度から実施されています。バンコクの中心部にあるシーナカリンウィロート大学、チュラロンコン大学、タマサート大学、チェンマイ大学、モンクット王ラカバン工科大学、プリンスオブソンクラーク大学で英語による専門講義を10コマ程度受講するとともに、タイに拠点を置く日系企業、またJICAや国際機関ESCAP等の機関を視察して、日タイ政治・経済関係の結びつきの強さを理解します。また、貧困をテーマにしたワークショップを本学のタイ拠点ASEANセンターで実施します。



授業風景

ベトナム国家大学人文社会科学大学 短期留学派遣プログラム

2016年度に引き続き、同じ時期にプログラム実施予定です。

受入プログラム

学部間協定による長期(2学期)・中期(1学期)受入れプログラム

政治経済学部「留学促進プログラム」の一環として、協定を締結している海外協定校等から、長期・中期の交換留学生を受入れ、日本人学生の相互派遣枠を確保すると共に、日本人学生が日本にいながら、受入れた交換留学生との交流を通じて、異文化に対する理解と洞察力、実践的な専門知識、語学力・能動的コミュニケーション能力を育てることを目的として、実施している

受入れプログラムです。

2017年度は、チュラロンコン大学の2学部、タマサート大学、シーナカリン大学の3学部、モンクット王ラカバン工科大学、ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学、ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学から受入れる交換留学生が対象となります。



長期受入れ交流会



短期受入れプログラム修了式

アジア太平洋・西シドニー大学短期受入れ共同プログラム

プログラム日程:2017年6月26日(月)~7月13日(木)

2017年度よりベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学、ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学、チュラロンコン大学、シーナカリンウィロート大学、モンクット王工科大学ラカバン校、タマサート大学といった大学の世界展開力強化事業採択校を中心とした、アジア太平洋地域にある学部間協定校からの短期留学生受入れプログラムと、西シドニー大学短期留学生

受入れプログラムを共同プログラムとして実施します。

アジア太平洋地域の各協定校及び西シドニー大学からの短期留学生は、共同で本学教員から特別講義を受けるとともに、政治経済学部留学生サポーターと山中セミナーハウス他で交流を行います。異文化理解を深めながら、学生交流ができるプログラムです。

理工学部建築学科、理工学研究科建築・都市学専攻では、海外(特にアジア)で活躍できる都市・建築デザインの実務家を育成するため、2013年度に英語による博士前期課程「国際プロフェッショナルコース(2017年度より国際建築都市デザイン系)」(I-AUD)を開設しました。

また、I-AUD開設前から、アジア各国における都市空間や居住環境をテーマとした国際ワークショップを協定校等と共同実施し、多くの日本人学生を派遣してきました。加えて、正規交換留学生や日本でのワークショップへの短期留学生を数多く受け入れてきました。

理工学部建築学科、理工学研究科建築・都市学専攻建築学系(生田キャンパス)及び国際建築都市デザイン系(中野キャンパス)*では、上記の実績に基づいて、ASEANやCLMV諸国の大学と、各国の特徴ある都市を基点とした多様な交流プログラムを開発し、展開します。

2016年度交流プログラム

派遣プログラム

建築国際共同ワークショップ派遣プログラム

プログラム日程:2017年1月6日(金)~15日(日)

海外協定校であるチュラロンコン大学建築学部と共同で、国際建築都市デザイン・ワークショップを開催し、両大学の学生が混成チームを作って、バンコク市内の運河沿いの地区の改善の提案に取り組みました。本学学生が海外

大学の学生と共同作業を行ない、実践的な協働のプロセスを通して専門的デザインスキルを身に付け、英語でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を養成することを目的としています。

2017年度実施予定交流プログラム

派遣プログラム

2都市型ASEAN国際共同ワークショップ派遣プログラム

プログラム日程:2017年8月上旬予定

これまでの海外協定校等とのワークショップを進展させ、CLMV諸国の都市でのフィールド調査とバンコクの本学アセアンセンターでのワークショップを組み合わせ実施し、多様な学生間の交流を通してASEANにおける都市のあり方を実践的に学び・考えます。これまで実績のあるチュラロンコン大学建築学部、シンガポール国立大学設計・環境学部、ラオス国立大学に加えて、カンボジア工科大学、王立芸術大学、ヤンゴン工科大学、ホーチミン市建築大学が参加し、多国間の教育交流を展開します。



共同ワークショップでのデザイン指導の様子

チュラロンコン大学建築学部 短期留学派遣プログラム

プログラム日程:2017年8月上旬~9月上旬予定

学部4年生を対象として、チュラロンコン大学建築学部夏休み期間の5週間程度派遣し、同学の設計演習科目を中心とした授業を受ける短期留学プログラムです。現地で生活しながら、英語での授業を経験することで、アジア圏の事情を参照しながら国際的な視野を拓き、実践的な設計能力や英語力を養うことを目的としています。また、留学中にはアセアンセンターで開催されるCLMV学生会議にも参加予定です。



チュラロンコン大学建築学部での講評会

国際実習派遣プログラム

プログラム日程:2017年9月上旬予定

学部2~3年生を対象として、バンコクの本学アセアンセンターやチュラロンコン大学建築学部などを中心に実施する現地講義・現地研修を組み合わせたプログラムです。これからの国際化を担う学生の育成を視野に入れて、

躍動的に発展する都市バンコクの魅力に触れながら国際的な視野を拓き、国外で学び・働く先輩たちや海外学生との交流を通して、将来への国際的飛躍の基礎づくりをすることを目的としています。



バンコク市内の現地研修(フィールドトリップ)



共同ワークショップワークショップの講評会

建築・都市国際共同ワークショップ派遣プログラム

プログラム日程:2018年1月上旬予定

2016年度に引き続き、同時期に同じようなプログラムを実施予定です。

受入プログラム

交換留学生受入れプログラム

チュラロンコン大学、シンガポール国立大学等の協定校から、半年あるいは1年の期間で交換留学生を受入れて、理工学部建築学科及び理工学研究科建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系で学ぶプログラムです。設計演習科目においては、海外学生と国内学生と一緒に履修し、英語での共同作業などを行うことにより、日本においても国際的かつ実践的な教育の場を提供しています。2016年度は5カ国から計10名の交換留学生を受入れました。



東京での現地研修(フィールドトリップ)

短期留学研修受入れプログラム

チュラロンコン大学建築学部を中心とした協定校等から東京での短期留学研修への受入れを行なうプログラムです。期間中には、理工学部建築学科及び理工学研究科建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系と連携したワークショップや交流の機会、東京という都市の魅力に触れるスタディツアーなどが実施されます。

*建築学専攻は2017年度から新たに建築・都市学専攻となります。

情報コミュニケーション学部は、2015年度までに、タイ、ラオスやベトナムの4大学4学部との協定に基づき、双方向の短期・中期の学生交流プログラムを展開してきました。

情報コミュニケーション学部は本事業の取り組みとして、CLMV諸国の全てを訪問する派遣プログラムを開発する等、ASEANやCLMV諸国の大学とのさらなる連携を展開します。

2016年度交流プログラム

派遣プログラム

インドシナ半島経済回廊研修プログラム

プログラム日程:2017年2月下旬～3月中旬

第1週はタイ・バンコクのUNESCOで観光の持続可能な開発、メディア革新と社会変動などについて講義を受け、国際連合アジア太平洋本部の会議室で模擬国連を実施します。第2週はカンボジアの二大学ともにバンコクで学んだ主題に基づいて国際共同調査やフィールド研修を実施します。第3週はベトナム・ハノイの二大学と交流学习を実施し、最終報告会を組織します。



ハノイ国連本部にて

2017年度実施予定交流プログラム

派遣プログラム

共創開発リーダーシップ育成プログラム(派遣)

プログラム日程:2017年8月～2018年2月

ハノイ貿易大学、ハノイ外国語大学へのセメスター留学をします。渡航前にEnglish Trackによる講座からLiberal Arts for Global Common等の科目修了者(修了見込者含む)が派遣されます。ハノイでの日系企業、日本の国際

機関、国連機関等でのインターン、就労経験、ボランティアなどを必須として組み込んでいます。

インドシナ半島経済回廊研修プログラム

プログラム日程:2018年2月中旬～3月下旬

2016年度実施の同派遣プログラムの課題を継承し、タイ(国連での研修と模擬国連)、ミャンマー・カンボジア(国際共同調査)を約3週間かけて実施します。

アセアン学生交流プログラム(派遣)

プログラム日程:2017年8月下旬～9月下旬

ASEAN諸国の同世代の若者との親密な交流を通じて、文化の異なる社会に果敢に飛びこめる積極性を引き出す短期の派遣プログラムです。また、派遣先のタイでは企業見学などを通じ、ビジネスの国際的な展開の重要性を肌で感じることができます。現地での卒業生の活躍を知ることで、海外で働くことに対する積極的な姿勢を育みます。



CLMV短期学生交流プログラム(派遣)

プログラム日程:2017年8月下旬～9月中旬

2017年8月下旬、バンコクに「大学の世界展開力事業」のプログラムを実施している情コミ、政経、理工の明治大学3学部及びCLMVを中心としたASEAN15大学の学生らが結集、学生国際会議を実施します。その後、ラオス経由でベトナム・ハノイへ行き、国際共同調査をハノイ貿易大、ハノイ外国語大学と実施します。一昨年この国際共同調査で作成した動画作品では外務大臣賞を受賞しました。



ハノイ外国語大学との共同調査

受入プログラム

共創開発リーダーシップ育成プログラム(受入)

プログラム日程:2017年8月下旬～2018年2月下旬

留学生たちが半期にわたりASEAN経済共同体、日本の高度成長の歴史、地球規模課題に対する国際社会の取り組み(国連持続可能な開発目標)について学ぶ中期の受入プログラムです。特に地球規模課題に関するEnglish Track講座からLiberal Arts for Global Commonの受講を義務付け、ゼミ

ナールでの総合的な指導や、日系企業・国際機関等での研修・ブリーフィング等への参加もしくは参画について、本学の学生とともにその企画・組織化を行っていきます。

CLMV短期学生交流プログラム(受入)

プログラム日程:2017年6月上旬～6月下旬

本短期受入プログラムは、同名の派遣プログラムとセットになっています。国際共同調査における問題意識の映像化を通じて、ベトナムからの受入学生にとって日本へのより長期の留学や、ベトナムの経済開発に関わる日系企業への進路選択の動機づけとなることを目的としています。ベトナム国家大学ハノイ外国語大学日本語文化学部及びハノイ大学と連携して実施する教育・研究事業を通じて日本の高度成長の長所・短所を学び、そこからベトナムに相応しい成長とは何かを学んでいきます。



アセアン学生交流プログラム(受入)

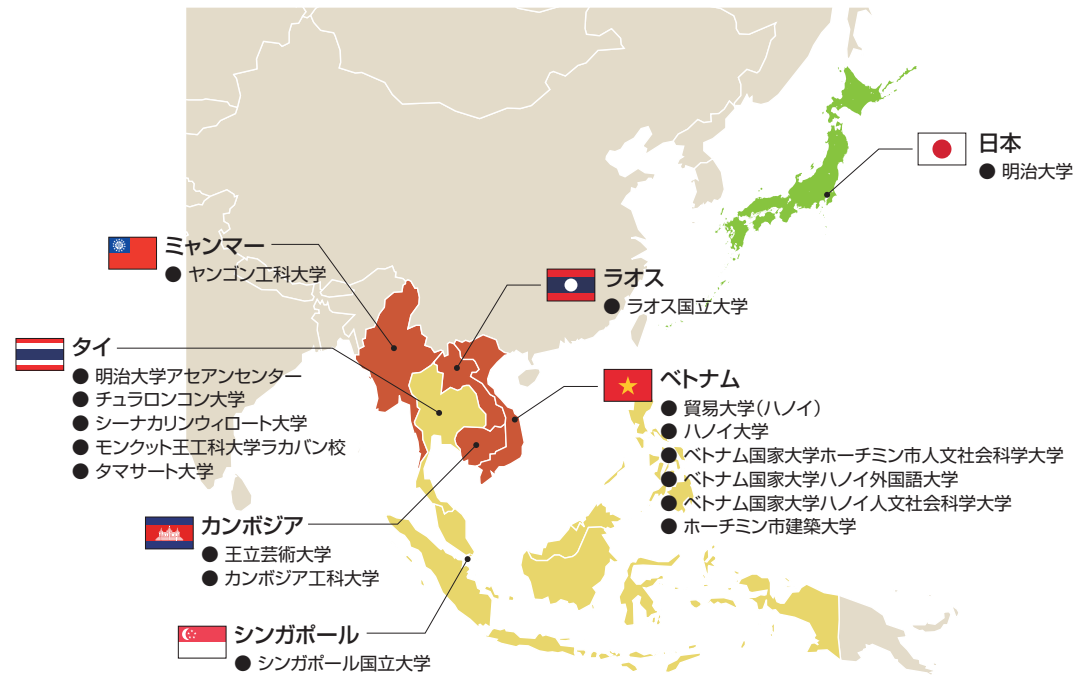
プログラム日程:2017年6月上旬～6月下旬

政治経済・社会状況の全く異なるタイとラオスの同世代の学生との交流を通じてASEAN域内の社会・文化の多様性を認識し、互いの事情に配慮し、互いを尊重する態度を養います。日本人学生との交流機会を多く設け、日本の文化・社会を学びます。また、ASEAN域内の経済動向や日本との関係に関するテキストを選び、それぞれの社会の抱える課題について考えます。





連携大学等一覧



明治大学アセアンセンター



明治大学アセアンセンターは、タイ・バンコクのスクンピット地区にある本学の学術交流協定校、シーナカリンウィロート大学のキャンパス内に所在しており、日本及び連携大学の幅広い学生たちが共に学ぶ場を提供しています。

2013年度に開設して以来、数多くの短期・中期交流プログラムにおいて、共同教育学習空間として活用されており、本事業においても「CLMV学生会議」や「共創FDワークショップ」等を開催し、連携大学との国際教育のHubとして、より一層活用していきます。

住所	114 M.L. Pin Malakul Building 10th Floor, North-Klongtoey Wattana, Bangkok 10110, THAILAND (シーナカリンウィロート大学内、サービスビル 10 階)
電話番号	0-2169-1019、0-2169-1020 (日本からは +66-2-169-1019 又は 1020)
FAX	0-2169-1021 (日本からは +66-2-169-1021)
Eメール	macbkk@meiji.ac.jp



問合せ先

☑
補助金事業全般について
国際連携事務室(駿河台キャンパス)
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL 03-3296-4191

☑
政治経済学部との取り組みについて
政治経済学部事務室(駿河台キャンパス)
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL 03-3296-4177

☑
理工学部建築学科・理工学研究科建築学専攻の取り組みについて
理工学部事務室(生田キャンパス)
〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
TEL 044-934-7563

☑
情報コミュニケーション学部との取り組みについて
情報コミュニケーション学部事務室(駿河台キャンパス)
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL 03-3296-4262



アクセスマップ

